

解熱鎮痛薬

頭痛・歯痛・生理痛（月経痛）の痛みによく効く

イソピロ錠 第②類医薬品

解熱鎮痛薬も、薬理作用は強く、副作用が少ないものへと研究開発されています。本剤もこの目的に添うべく検討されたものです。

★イソピロ錠と鎮痛・解熱

イソピロ錠はよく効く解熱鎮痛薬です。解熱鎮痛薬のアセトアミノフェンに、興奮作用を利用して解熱鎮痛薬の効果を高め、かつ眠気防止の目的で無水カフェイン、さらにアリルイソプロピルアセチル尿素を加えて鎮痛作用を増強しています。

イソピロ錠は直径9mm、白色の割線を有する錠剤です。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。）

- 次の人は服用しないで下さい。
 - 本剤による過敏症状（発疹・発赤、かゆみ、浮腫等）を起こしたことがある人
 - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい。
（眠気があらわれることがあります。）
- 服用時は飲酒しないで下さい。
- 長期連用しないでください。

■ 相談すること

- 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談して下さい。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 高齢者
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の診断を受けた人
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 次の場合には、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。
 - 服用後、次の症状が現れた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合には直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさとともに顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステイブス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる。
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても症状が良くならない場合

成分と作用

成分	6錠中	作用
アセトアミノフェン	900mg	解熱鎮痛薬です。
アリルイソプロピル アセチル尿素	180mg	鎮静薬で、末梢性鎮痛薬の鎮痛作用を相乗的に高めます。
無水カフェイン	150mg	中枢興奮作用を有し、眠気防止目的と、解熱鎮痛作用の増強を有します。

添加物として乳糖、セルロース、カルメロースCa、ステアリン酸Mgを含む。

効能・効果

- 1) 頭痛、歯痛、抜歯後の疼痛、咽喉痛、耳痛、関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛、肩こり痛、打撲痛、骨折痛、ねんざ痛、月経痛（生理痛）、外傷痛の緩和
- 2) 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

次の1回量を1日3回を限度とし、なるべく空腹時を避けて服用して下さい。服用間隔は4時間以上おいて下さい。

年齢	成人（15歳以上）	7歳以上15歳未満	5歳以上7歳未満
1回量	2錠	1錠	1/2錠

〈用法・用量に関する注意〉

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2) 本剤は5歳未満の乳幼児には服用させないで下さい。
- (3) 錠剤の取り出し方

図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して下さい。



（誤ってそのまま飲み込んだりしますと食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）

発熱時の養生法

- (1) 食事は栄養価が高く、消化が良く、暖かく、また水分の多いものを取るよう心がけて下さい。
- (2) 入浴は熱が下がって1～2日あとにして下さい。
- (3) 汗をかいた衣服は、早く着替えて、体を冷やさないようにして下さい。
- (4) 出来るだけ安静にして下さい。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しいところに保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かないところに保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。（誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。）

★お問い合わせ先

〒841-0032 鳥栖市大正町716

日本薬品株式会社 お客様相談室

電話：0942-82-2029

FAX：0942-82-2036

受付時間：9時より17時まで（土、日、祝日を除く）



製造販売元
日本薬品株式会社

鳥栖市大正町716

(08F)